



# 地域医療連携室だより Vol. 93

平成 29 年 3 月 1 日発行  
発行元 大津市民病院地域医療連携室  
住所 〒520-0804  
滋賀県大津市本宮二丁目 9 番 9 号  
TEL 077-526-8192  
<http://www.municipal-hospital.otsu.shiga.jp/>

## 皮膚科の紹介

皮膚科診療部長  
末廣 晃宏



平素より各地域の先生方におかれましては、患者様の診療を通じ、御協力、御高配を賜り、深謝申し上げます。今回は皮膚科の診療内容の概略を紹介させていただきます。

当院皮膚科は、京都府立医科大学皮膚科と連携し、日本皮膚科学会認定皮膚科専門医養成のための一般研修施設に指定されており、現在は常勤医師 3 名(末廣、井岡、横瀬)と非常勤医師 1 名(荒木)で皮膚科全般の診療を行なっています。

外来診療は、平日の午前受付で 2 診体制で行なっています。(月、火、金の午後は予約再診も行なっています。)午後は皮膚生検(随時)、手術(木)、パッチテスト(主には月、火に貼付)、院内褥瘡患者回診(水)、入院患者の診療(毎日)などを行なっています。

当科では、デルマトローム(全身疾患と関連して生じる皮膚病変)が疑われる症例に対しては、原因追求のための精査(悪性腫瘍の検索などを含め)を原則、積極的にすすめています。また、実施件数は多くはありませんが、薬疹の challenge テスト(内服等)も必要に応じ、外来または入院管理下にて行なっております。液体窒素による凍結療法は、疣贅、各種皮膚腫瘍等に対し、連日頻繁に行なっています。なお、光線療法に関しましては、現在当院では実施しておりません。

手術に関しては、大半は局所麻酔下での日帰り手術ですが、大きな腫瘍、植皮が必要な症例、足底の手術などは術後入院加療も勧めています。対象疾患としては、良性のものは色素性母斑(黒子)、脂肪腫、脂漏性角化症、粉瘤等が多く、悪性のものは有棘細胞がん、基底細胞がん等です。重症例に関しては、高次施設とも連携をとり、最善、最適な診療をこころがけています。



皮膚科で担当する疾患は、湿疹群、蕁麻疹・痒疹群、紅斑症、紫斑病、循環障害、膠原病、肉芽腫症、熱傷、凍瘡、放射線皮膚障害、紫外線皮膚障害、薬疹、水疱症・膿疱症、角化症、炎症性角化症、代謝異常症、色素異常症、形成異常症、腫瘍性疾患、ウイルス性疾患、細菌性疾患、STD、真菌性疾患、動物性疾患、汗の異常、毛包脂腺系疾患、脱毛症、爪の異常など、多岐に亘ります。入院加療を要する疾患以外も含め、皮膚科専門医の診察、診療が必要な患者様がおられましたら、御紹介を頂ければ幸いです。

### 皮膚科 外来担当表(平成 29 年 3 月現在)

★赤字は女性医師

			月	火	水	木	金
1 診	午前	再診	井岡	横瀬	末廣・井岡	交代制	末廣・井岡
2 診	午前	初診	交代制	末廣	横瀬	末廣・井岡	横瀬



## 滋賀県がんと向き合う週間

毎年 2 月 4 日から 2 月 10 日は、県民・事業者に広くがんについての関心を深めることを目的に、県が「滋賀県がんと向き合う週間」として定めています。

今年度の大津市民病院としての取り組みは、「放射線治療」や「緩和ケア」など、当院のがん対応の一部についてポスターを作成し、地域医療連携室前の掲示板に 2 月 1 日から 2 月 17 日まで掲示しました。



## こんな看護をしています - 6A 病棟 -



～患者様ご家族様の希望に沿った細やかな看護～

6A 病棟副看護科長 松見 裕子

6A 病棟は神経内科の中でも神経難病を主とする 20 床の病棟です。10:1 の看護体制で看護師 21 名と看護補助者 1 名で業務しています。主な入院目的は薬剤の調整やリハビリ、精査目的、レスパイトによる定期的な入院です。そのため患者様やご家族様との付き合いも長く深くなり、患者様やご家族様の希望を聞きながらより細やかな看護が出来るよう心がけています。



クリスマス会の様子

長期の方や寝たきりの方に少しでも季節の移り変わりを感じていただけるよう、病棟廊下の窓やベッドサイドにイラストを飾ったり季節のイベントとして七夕会やクリスマス会を開催したりしています。2 月にはバレンタインデーのメッセージカードを配りました。毎回患者様やご家族様には好評で、普段無表情の患者様が笑ったり泣いたりされることもあります。

平日は毎日パーキンソン体操を行い四肢の機能の維持を図ったり、週 1 回はレクリエーションとして魚釣りゲームや風船投げなどで気分転換が図れるようにしています。神経難病は少しずつ身体の機能が低下していく疾患です。四肢が動きにくくなり歩行など今まで出来ていたことが段々出来なくなり、時には呼吸もままならなくなっていきます。呂律困難になり意思の疎通が図りにくくなったり幻覚に悩まされるようになったりします。そのような患者様やご家族様が少しでも現状をスムーズに受け入れられるように、これからの生活をその患者様なりにより良い状態で過ごせるように、MSW や理学療法士などの他職種とも連携し一緒に対策を考えています。



## 大津市民病院 学術講演会 / 病院見学会開催報告

平成 29 年 2 月 2 日 (木) 14 時 30 分～16 時 30 分に、大津市医師会、大津市民病院 共催の学術講演会 / 病院見学会を開催しました。

学術講演会では、当院外科診療部長 (消化器部門) 岡部 寛医師が講師を務め、「消化管腫瘍に対する低侵襲手術 ～最近の動向～」をテーマに、消化管がん手術と内視鏡手術支援ロボット (ダ・ヴィンチ) についての講演を行いました。

当院からは 11 名が参加、大津市医師会からは 10 名の先生方にご参加いただき、ディスカッションを通じてテーマに関する知見を共有して頂きました。

その後の病院見学会では、手術室にて実際に「内視鏡手術支援ロボット (ダ・ヴィンチ)」の見学、操作体験をして頂き、参加して下さった先生方からは支援ロボットのアームの精密な動きに感嘆の声が挙がる一方で、操作には熟練の技術が必要だとの感想もいただきました。

大変お忙しい中、ご参加頂きました大津市医師会の先生方には心より感謝申し上げます。



平成 28 年度

## 滋賀県緩和ケア研修会開催報告

(第 9 回大津市民病院会場)

平成 29 年 2 月 18 日(土)・19 日(日)の両日、平成 28 年度滋賀県緩和ケア研修会を大津市民病院で開催しました。

この研修は、国のがん対策推進基本計画、滋賀県がん対策推進計画において「がん診療に携わる全ての医療従事者が基本的な緩和ケアを理解し、知識と技術を習得する」ことを目標に平成 20 年度より実施されているもので、今年度は、県内 10 カ所の会場(がん診療拠点病院、地域がん診療支援病院)で実施されています。

当院での開催は今年度が初めてでしたが、院内 16 名、院外 15 名の計 31 名(内、医師が 26 名)の参加があり、日本緩和医療学会作成の緩和ケア研修プログラムに添って、講義、グループワーク、ロールプレイなどが行われました。

講義では熱心な聴講、グループワークでは活発なディスカッション、ロールプレイでは実際の診療場面を想定しての医師役、患者役を体験後、真摯に自己・他者フィードバックを行うなど、積極的に参加されている参加者の姿が印象的でした。

終了後の参加者アンケートでも「大変勉強になった。」「今まで持っていなかった観点などにも気づくことができ、充実した研修会だった。」「がんに限らず様々な臨床現場で応用可能な知識やスキルを習得することができた。」「他の診療科の医師とディスカッションすることができ、改めて参考になった。」などの評価が得られ参加者にとって充実した研修となったようでした。



## 感染症病棟受入訓練 を実施しました

平成 29 年 2 月 10 日(金)13 時～16 時 30 分に、大津市保健所との合同訓練として、感染症病棟受入訓練を実施しました。

当院は、第一種感染症指定医療機関として県内で発生した感染症法における 1 類・2 類感染症患者の入院受入を感染症病棟(9B 病棟)にて行うこととなっています。

これまでも同訓練は実施してきましたが、今回の訓練内容は、「エボラウイルス感染症疑い患者が発生し、大津市保健所が患者を当院感染症病棟(9B 病棟)へ搬送する」というもので、大津市保健所による患者の当院への搬送訓練がメインでした。

大津市保健所による当院への患者受入要請を受けてからの当院での受入準備、大津市保健所職員による模擬患者の当院への搬送と感染症病棟への搬入という一連の流れの中で、防護服の着脱、患者搬送用アイソレーターの使用訓練なども行い、実際に感染症患者が発生した場合にスムーズに対応するための手順や体制を確認しました。

今後も訓練を重ね、実際の事態に備え準備を整えていきます。

## \* 開催のお知らせ \*

大津市民病院 9 階大会議室 / 駐車場・参加費無料 / 事前申込み不要

### ●NST 勉強会

3 月 23 日(木) 17 時 30 分～19 時

テーマ: ①「炎症性腸疾患の栄養管理」  
②「胆・膵疾患と栄養管理」

講師: ①早川 めぐみ 医師(消化器内科)  
②杉本 博子 医師(消化器内科)

### ●第 27 回総合内科症例検討会

3 月 16 日(木) 17 時 30 分～(約 1 時間)

テーマ:「発熱、体重減少を主訴に受診し  
肝障害を認めた高齢男性の一例」

いずれも公開講座としています、  
院外からも多数の参加をお待ちしています。

お問い合わせ・地域医療連携室 TEL:077-526-8192